

日本・P I F 未来創造高校生交流事業 派遣生徒の日記

8月14日(日)第1日目

13:30 JR久里浜駅集合	・大船から合流する U さんを除いた4人と M 先生が集合。集合場所には4人の母と副校長先生が見送りに来てくれました。
13:57 さようなら 横須賀	・校長先生も、一緒に電車に乗っていただき、久里浜を出発。大船で U さんも合流。
16:40 成田着! O さん、よろしくお願いします	・成田空港に到着し、O さんと合流。スーツケースを受け取り、チケットを受け取り、スーツケースを預け...色々な手続きを済ませ、みんなで dinner を食べました。
20:25 CO964 8番ゲートから搭乗	・いよいよ飛行機に乗りました。

あっという間に、研修出発日の14日になってしまいました。久しぶりにみんなに会いましたが、みんな元気そうでした。「明日の今頃はポンペイに居るんだ」と考えても、まったく実感が湧かないまま電車に乗りました。

約3時間、電車の中に座ったままでとても疲れました。まだまだ実感は湧きません。

空港に着いて、急に実感が湧いた気がしました。O さんとの合流、空港の雰囲気、着々と進められる手続きのせいでしょうか。ハプニングもありましたが、乗り越え、晩ご飯を食べ、いよいよ出発に向けて...集合時からずっと一緒にいてくれた奥野さんのお母さんともお別れです。空港までありがとうございました。

ドキドキ...

離陸し、空からはきれいな東京の夜景が見えました。機内食はサンドウィッチ(?)とサラダ(?)とチョコケーキ(?)???美味しかったです。さて、グアムに着くのは...明日です。

8月15日(月)第2日目

AMです!! 1:00 (about) グアム着	・ハロー。グアムなのに、アメリカなのに、外国なのに、空港にも街にも日本語が沢山あります。さすがグアムですね。ちょっとショックでした。
2:05 ホテル着	・ホテルでは、シャワーを浴びてすぐに寝ました。(5:15 モーニングコール 6:00 チェックアウト)
8:20 グアム発	・空港では少し時間があり、ゆっくりすることができました。約7時間半のグアム滞在。眠いです。
12:45 ポンペイ着	・飛行機はポンペイの前にチュークに着陸。機内の掃除をし、次に着陸する島がいよいよポンペイ。わくわくです。
空港には、外務省の方やホストファミリーなど、沢山の人が迎えてくれました。	・空港で、ホストファミリーに会いました。綺麗なお花のレイをもらいました。ポンペイ空港のトイレの汚さに驚きました。これからの生活に不安を感じるほどのものでした。
12:30 Joy レストラン お昼ごはんです。	・Joy ランチにお刺身が...マグロでしたが、不思議

昼食後時間があつたのでスーパーマーケットに寄りました 15:30 日本大使館到着 入り口で、ものすごく厳しい身体チェックがありました。 15:50 大使表敬訪問 17:30 大使館発	な食感。えっっっ！？刺身！？という感じでした。・マーケットに野菜が無い。わずかに置いてある野菜は腐りかけていました。 ・遅刻することも無く、15:30 に大使館に着いたけれど...大使館入り口で厳しいチェックが。O さんの爪切り付の小さなナイフと、私のヘアピンは大使館内に持ち込むことができませんでした。 ・20 分ものチェックを終えて、やっと大使館に入ることができました。 ・大使にお会いして、歴史のこと、環境のこと、犬のこと...色々なお話を聞かせていただき、とても勉強になりました。
大使館を出て、ビレッジホテルへ向かいました。 ビレッジホテルは、インターネットで見たとおりの自然に囲まれた、窓の無いホテルでした。ヤモリがいて、トカゲがいて...夜には叫び声と笑い声が...。明日からのホームステイ生活が不安になる一夜になりました。	

8月16日(火)第3日目

8:00 朝食のはずだった・・・ 10:00 ~ 外務省、教育省、連邦議会などの見学 昼食 SEI レストラン 13:30 JICA 事務所訪問 14:00 ポンペイ州知事表敬訪問 15:00 ポンペイ州立病院見学(JOCV 活動先) 栄養士隊員の Y さんの活動現場の病院を訪問した。	・O さん以外みんなそろって寝坊してしまったのであわただしくヴィレッジホテルにて朝食 ・外務省などがある建物はどれも綺麗だった。職員の方はとても親切で、どんなに偉い方でも「困ったことなど何かあったら私に連絡を」と言ってくさる。 ・ブッフェ式でうどんのようなものもあった。油っぽいものばかり食べていたから胃がもたれて重くなってきたので、野菜やオレンジなどを中心に食べた。 ・所長さんはとても優しくそんな穏やかな雰囲気の方で私たちが JICA に 9000 円ずつ払っていてそのお金で活動していることを教えてくださった。今まで自分が JICA に何か協力してるなんて知らなかったの、少しでも協力できている事を知って嬉しかった。 ・部屋に入ってくるなり「こんにちは!!」ととても発音よくおっしゃったので、驚いた。お父さんが日本人らしい。お土産のはっぴもとても喜んで着てくださって、とても良い方だった。愛地球博で日本に来るそうだ。(帰りのポンペイ ~ グアムまでの飛行機が一緒だった) ・今は主に病院食を作っているそうですが、それだけでなく地域での活動もしているそう。島民は、糖尿病のひとが多いらしく、糖尿病対策のメニューな
---	--

16:00 真珠養殖場見学 黒真珠を新しい産業にするねらいがある。	どを島民に教えているそう。ゴミ問題も関係してくるようで奥も深くとても大切な活動だと思った。 ・ここで働いている I さんに色々な話を聞いた。とても一生懸命に島民に養殖について教えているよう。何年か先には、ポンペイが真珠の養殖で有名になるのではないかと考えた。経済問題などから考えても、そうなればよいのではと思う。
17:00頃 ポンペイ中央高校へ ホストファミリー宅へ	・どんなファミリーなのか、どんな家なのかずっとドキドキだった。ホストシスターとホストマザーが学校まで迎えに来てくれた。車で学校から 30 秒くらいだった。着いてみるととても大きくて綺麗な家だった。一人部屋まで与えてくれた。でも案の定ニワトリ、ブタがたくさんいた。家には、とてもたくさん兄弟やいとこなどがいて誰が誰だかわからない。でもみんなとても親切!! 夕食はご飯にマグロのお刺身などだった。しょう油もみんな使ってた。この家は、家族みんなそろってご飯を食べたりしないよう。日本や日本語にとっても興味を持っている家族のようで話してて飽きない。 10 歳の妹は、カタツムリの歌を歌っていたので日本のゲームを教えてあげた。英語で説明するのは、とっても難しかったけれど、一生懸命説明したら理解してくれた!!とてもそのゲームが気に入ってくれたようだし、とっても嬉しい。これから 3 日間楽しく過ごせそう。

8月17日(水)第4日目

9:00 PICS(学校)集合だったが・・・ 学校に着くと、全員ちゃんと来てた。私は結局50分の遅刻。	・昨日ホームマザーが洗ってあげると言ってくれて、朝持ってきてくれるはずのワイシャツが来なくて、9:00学校集合なのに9:40にステイ先を出る。昨日も思ったけどステイ先の車の下のところに穴が開いてた。正面のガラスも大きなひびが入ってるけど、これが普通？ ものすごい遅刻してたから、ものすごい車を飛ばしてくれたけど、携帯を使いながらとか、怖いから止めてほしい。ある意味ジェットコースター....。
10:00頃 歓迎の言葉 副校長先生の話があって、学校見学に行こうとしたら、校長先生現わる。 10:30頃 校内見学 4年生(シニア)だけ学校が始まっていた。	・また話を聞いた。けど、正直に言うと眠かった。 ・ポンペイ高校は、教室と教室がすごく離れてて、強烈な日差しの中、帽子もかぶらず日焼け止めも塗らずに歩

12:00頃 ランチタイム 大きな舞台の上でデモンストレーションをやった。 13:00頃 ランチ 給食を食べた。 13:30頃～ 日本語選択の生徒との交流 14:00頃～ 授業参加 15:00頃 学校訪問終了	いた。O さんがハンカチを貸してくれた。かなり暑い。バ ッタが大量にいた。 ・食堂に戻ってきてから、デモンストレーションの練習を、あ わてて少しやった。 ・デモンストレーションは自分は失敗。自己紹介の時と、書 道で、向こうの人の名前を書いた時、間違えた。でも、歌 (校歌と赤とんぼ)と、フォークダンスは盛況だった。みんな、 食べ終わってからも見てくれていて、嬉しかった。 ・お昼の給食は、おかずの味が濃かった。それに、おか ずが一品だけで、野菜もすごく少ないし、日本の給食と は大違い。 ・日本語を勉強している学生としゃべったけど、向こうも 恥ずかしがっているみたいだった。意外。 ・今度は教室の中に入って授業参加。と言っても、椅子 に座って見学してるだけだった気が... やっぱりここでも違うのは、教室の暗さ！真ん中の席に 座っても、黒板見えないし、字が小さい！視力が悪くなり そう。それと、机が無くて、SEAホールにあるみたいな椅子 で、勉強していた。生徒の数は日本と変わらない。 あと、日本語の教室には、いろんな日本の風景の写真 や、日本地図が壁に貼ってあった。なぜか少数だけど、 生徒が無言で教室を入ったり出たりしていた。 ・ホームステイ先へ帰宅。
家に帰る途中、コショウを買いたいといったら、コショウ屋さんに寄ってもらった。英語にわたわたしていると、日本の方が出てきてくれて、助かった。 そして、R、A、A とスーパーみたいなところで買い物をした。日本の寿司酢が売ってて少し驚いた。DVDも売っていた。 帰ってからは、テレビを見ながらジョニーデップの話をしたり、踊りを教えてもらったりしてすごした。 全体的にだらだらして10時頃寝た。	

8月18日(木)第4日目

7:00 起床 9:00 学校へ集合 10:00頃 SEI BOTANICAL GARDEN へ 出発 40分くらいの道のり、行くまでは寝ちゃっててどんな感じかは不明...でも陰しそうだった。	・JOCV 隊員 H さん観光局員 J さんに今日一日案内してもらおう。 ・植物園には本当にたくさんの草木があった、ジャングルにはまだまだ知られていない植物や昆虫がたくさん居そうです。 このセイさんの植物園では世界の料理人に認められている胡椒が栽培されています。木になっている若い胡椒を一粒もらいました、それはとても辛くてこれが世界の胡椒の味かー!!!と感じました。胡椒には黒胡椒と白胡椒があってそれは同じ胡椒の粒からできていることが判明!!作り方が違うだけで、白胡椒は、収穫したら水の中に1週間ほどいれて表の皮をとり、中の白い
--	---

13:00頃 ソケースマウンテンへ ・ 無名戦士の墓 ・ 山頂からの景色 ・ 対空砲などの戦跡 16:00頃 ゴミ集積場見学 噂のゴミ処理場へ行きました。 16:30頃 ポンペイの市場見学	部分を残すそうです。ポンペイの家庭では豚を飼っています、この植物園も飼っていた、でも豚の数はとても多くて 40 匹ほど居るそうです。昼ご飯もここで食べました。ご飯の残りを豚にて食べさせていいと と、まるで「千と千尋の神隠し」のように豚がご飯に群がりました。園内を散策中にたくさんの果物が木になっていて、市原さん（案内してくれた人）が取って食べさせてくれました。残念ながら私はお腹を壊していたのでグアバなどを食べることはできませんでした。でもみんなおいしかったって言ってました。広い園なので場所ごとに、新宿・銀座・三鷹など日本の地名がつけられています。 ・ 頂上までは中間地点まで 15 分、ここはかなりきつい上り坂でした。中間地点で軍人さんに会いました。この山で訓練していから急に出てきても驚かないでだって。山からは海がきれいに見えてうれしかった。空港がちょうどそこからは見えた。そのすぐ隣には、この後行く噂のゴミ収集場がありました、そこだけ色が違っていかにも汚そうでした...ここで休憩をしたら比較的平らな土地を歩くこと 15 分、泥道で歩きにくかった。途中さっき聞いた軍人さんたちとすれ違った、ジャングルの中からは声が聞こえたり、こんな中に居るの!?なんて思うほどでした。頂上到着!!頂上は狭いところだったけれど景色は最高でした。水平線がなんの建物に邪魔されること無く見えました。そして、頂上には日本のほうを向いて戦争で亡くなった戦士へと「無名戦士の墓」が建っていました。残念なことに頂上にはゴミがたくさんあって少し汚かったです。ここですかさず、観光局の J さんはゴミ拾いをはじめて持ち帰りました。また中間地点まで戻ってきて、今度はここにある戦跡を見に行きました。対空砲がありました、それらはなにも人の手が加えられていなくて、戦争当時のままのようでした。苔や錆に包まれながらも、その対空砲たちからは威厳が感じられました。 ・ <<臭い>> <<ハエ>>これがこの第一印象でした。ポンペイに来てこんな風に思ったのは初めてでした。そして S さんの言っていた飛行機が本当にありました...輪切りになって堂々とそこに居ました、信じられない光景でした。ポンペイがゴミに荒らされてかわいそうでした。でもこの荒らしてしまっているのが人間だという現実がつらいです。 ・ ここは市場といっても日本と比べたら何倍も小さかったです。売っているものも魚・バナナ・果物・カニでした。しかし衛生管理がこんなのでいいのかと思うほどで、魚にはたくさんのハエがたかっていて正直言って自分はここで買い物をしたいとは思いませんでした。
---	---

16:30頃 カピングマランギ村へ 日本語の上手な老人に会った。 17:00頃 学校へ到着 ファミリーが迎えにきてくれた。	・ここは元々ポンペイ島南方の小さな島の人々が移住してきた地域です。なぜ移住してきたかというとその島が災害に襲われて大飢饉になってしまいポンペイ州の一部だったためにポンペイへと移住してきました。ここの人々は昔のままの生活スタイルで家は葉っぱでできていました。服も今ではズボンも入ってきていますが一枚の布を腰に巻くスタイルが今も残っています。そして、収入を得るために、木彫りや、編物の民芸品を作っていた。そのお店にも行った、いろいろな民芸品があった。ここで、校長先生へお土産を買いました。JOCV 隊員 H さんに聞いた話では、ここの人々はやはり外からきたというような見方をされて、ポンペイの人から少し下に見られてしまっているそうです。こんな小さな島にも差別の影がありました... ・この村のちょうど入り口あたりで 89 歳の日本語を上手に話すおじいさんに会いました。この人はやはり日本統治時代に日本語を習っていたそうです。それにしてもこの平均寿命は 60 歳くらいだというのに、このおじいさんはすごい長生きだと思いました。 ・今日はファミリーとの最後の夜です。たくさんいろいろな話をしました。あと、書道を教えてあげました!!
--	---

8月19日(金)第6日目

9:00 PICS 集合 ボートツアー(ビレッジホテル発) 無人島にてシュノーケリング ケプロイの滝 無人島にて昼食 ナンマ・ドール遺跡 16:30 ホテルへチェックイン 18:30 ~ さよならパーティー たくさんのお客様に来ていただいた。	・ホームステイ終了 ・サンゴは思ったのと少し違ったけど、多さと魚の綺麗さに感激した。潮が引くとあんなにサンゴが海上に上がるとは思わなかった。初めてのシュノーケリングは、自分で見てないと思うくらい感激した。 ・ケプロイの滝は大きかった。深くて、冷たくて溺れそうになった。滝の真下から見上げる景色はヤシの木と空の青さと一緒に見れて絶景だった。 ・ビレッジホテルで用意してくれたお弁当を食べてから再び泳いだ。 ・ナンマ・ドールは現実離れた世界だった。誰が何のために作ったのか少しわかったけど、本当にそんなことがあったんだなぁと思った。呪いとかが本当に起こるからとても聖なる場所なんだと思った。 ・ビレッジホテルで最後のポンペイの夜。 ・お別れパーティーは、初めはとても緊張した。でも、スピーチと歌が上手くできてよかった。 ・私のホストファミリーのおじいちゃんが村長さんだなんて聞いてすごく驚いた。
--	--

8月20日(土) 第7日目

7:00朝食、大東文化大学の先生から環境問題についてお話を伺う	・今日はものすごく早起きで...環境の話を聞いて、今大人がやっていることは私たちが大人になったときに返ってくることなんだと思った。だから、私たちもそれを続けていかなければならないと思った。
10:00ホテルチェックアウト	
10:30空港でチェックイン	・一度空港へ行ってチェックインした後にもう一度町に戻ってお土産を買った。やっとポンペイスカートGET！
13:00頃 空港へ ホストファミリーが見送りに来てくれた。	・空港では、最後まで私のホストファミリーが来なくて悲しかった。でも、出発寸前で来てくれて感動で涙々だった。今までの涙がすべて出たという感じだった。みんなの優しさをものすごく感じた。また来年も来たいと思った。
14:55 CO957便にて出発	・さよなら Pohnpei!!
17:15 グアム着	・愛地球博へ行く副大統領や州知事さんたちが一緒だった。
19:00頃 夕食	・夕飯の日本食は美味しかった。
21:30頃 反省会	・5日間のポンペイ滞在を振り返って、各自感想を述べた。

8月21日(日)第8日目

グアムは日本人がいっぱいで、外国に来ているという感じがしなかった。つくづく、ミクロネシア(ポンペイ)にはこうなっていてほしくないと思った。 今日のお買い物は時間が限られてたりしてゆっくり見られなかった。もっとお金があればいろんなものが買えたけど...。でも、お母さんの sundress が買えて良かった！ これは観光じゃないし...。次ミクロネシアに行くときは遊びで行きたい！ 16:35発 CO963便で成田へ向かった。 19:15予定通りに成田空港着 Hさんに出迎えてもらった。 20:45発 成田エクスプレス46号 22:17横浜駅着 その後京浜急行で帰宅	
--	--

参考：横須賀市立横須賀総合高校ホームページ

<http://schoolnet.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp/schoolnet/highschool/301sougou/file/event2005/event200508.html>